

研究テーマ名：高野山町石道周辺景観の完全デジタル化プロジェクト

研究代表者：尾久土正己（観光学部）

1) 研究の目的

2015 年に 1200 年を迎える世界遺産・高野山の参詣道「町石道」とその周辺を、観光学部で研究を進めているデジタルドームシステムで 360 度映像として撮影し、景観をデジタル化する。それらをアーカイブ、ドーム映像化などを行うことで、景観保全、観光、復興まちづくりに活用する。さらに、この成果を用いて将来は全県的に景観のデジタル化を目指す。

2) 実施概要

観光学部設置時に導入したハイビジョンの 4 倍の解像度を持つ 4K ビデオカメラに加えて、より可搬性のあるパノラマ・カメラに歩行撮影システムや自転車撮影システムなどを導入し、高野山と町石道の周辺の景観のデジタル化を行なっている。これらの映像をもとに、プラネタリウムで上映できるドーム番組や、地図情報と連携した自由視点の flash ビデオを制作し、学内外のドームスクリーンや、各地の高野山関連のイベントで公開し、評価実験を行なっている。



3) 実績のリスト

(学術業績, 外部資金, その他)

【学術業績】

- ・招待講演：Okuyudo, M., Yoshizumi, C.: "Education for Disaster Prevention Using Ultra-Realistic Dome Images", 19th International Display Workshops, Vol.19, pp.1293 - 1296 (2012).
- ・尾久土正己、他：「デジタルプラネタリウムを使った観光映像の上映」観光情報学会第6回研究発表会講演論文集（査読なし）, pp 53-60, (2012)

【外部資金】

- ・2012～2014年度科学研究費補助金基盤研究(C)
- ・共同研究：長野県飯田市、フジテレビジョン、NHKエンタープライズ

【その他】

- ・国際科学映像祭ドームフェスタ（2012.8）、国際会議 IDW/AD(2012.12) にドーム番組「高野山～1200年のときを越えて～」のトレーラー出展
- ・橋本高校「世界遺産授業」、高野山大学「高野山学特別講座」、東京池袋駅「九度山町観光キャンペーン」でパノラマ映像を展示（すべて2012.9）

4) 自己評価と課題

景観のデジタル化とその利用に目処をつけることができ当初の目標をほぼ達成した。

5) 地域へのコメント

高野山1200年祭での利用、他地域への展開で、飯田市とどのような共同研究を希望！

【キーワード】 デジタルドーム、高野山町石道、景観保全、観光、復興まちづくり

機材展示中！